

秋田県沿岸産および県外産魚介類の水銀調査について

高階 光栄* 石塚 英馬* 小沢喬志郎*
今野 宏* 藤盛 義英*

I はじめに

県民の食品安全確保を目的として、県内の水銀による環境汚染の実態を把握するため、昭和49年度は県沿岸産魚介類並びに、県内で市販されている県外産魚介類中の総水銀について調査を行ったので、その結果を報告する。

II 調査方法

県沿岸産魚介類については地域差を知るため、県内を県北（岩館地区）、中央（男鹿地区）、県南（象潟地区）に区分し、昭和49年3月から昭和50年2月まで採取した魚介類を対象とした、サンプリング方法については、厚生省の通知に従った。
試験方法は試料を酸素ポンプ法で燃焼後還元気化原子吸光法で定量した。

II 調査結果

県沿岸産魚介類38件中、最高値は0.14ppm（サメ）、最低値は0.01ppm（テリ等）で平均値は0.04ppmである。さらに地域別では県北地区平均値0.04ppm、中央地区平均値0.04ppm、県南地区平均値0.03ppmで何れも暫定的規制値0.4ppmを下回っている。
県外産魚介類14件中、最高値0.14ppm（キンキン）、最低値0.01ppm（イワシ等）、平均値0.05ppmで同じく暫定的規制値0.4ppmを下回っている。魚種別の調査結果は表1に示す通りである。

表1 魚介類中の総水銀含量調査
単位 ppm

県沿岸産魚種		地 域 別					
		県北	時期	中央	時期	県南	時期
サメ	サメ目	—		0.14	50/2	—	
				0.09	49/3		
メバル	カジカ目	—		—		0.12	49/11
カナガシラ		0.07	49/7	0.05	50/2	—	
				0.04	49/5		
アイナメ		0.07	49/7	0.06	49/7	—	
テリ		0.06	49/7	0.02	49/7	—	
				0.01	49/5		
ホッケ		—		0.01	49/5	—	
キス	スズキ亜目	0.06	49/7	0.06	49/7	0.02	49/11
ハタハタ		—		0.04	50/2	0.02	49/11
タイ類		0.02	49/7	0.02	50/2	0.02	49/11
コハダ	ニシン目	—		0.06	49/5	—	
カレイ	カレイ目	0.02	49/7	0.03	50/2	0.04	49/11
		0.01	49/3	0.01	49/7		
ヒラメ		—		0.02	49/11	—	
アジ	アジ亜目	—		0.08	49/11	—	
				0.06	49/5		
イナダ		0.02	49/7	—		—	
アオ		—		—		0.01	49/11
タラ	タラ目	—		0.03	49/11	—	
トビウオ	トビウオ目	—		0.02	49/7	—	
コイ	コイ目	—		0.01	50/2	—	
イカ	イカ類	—		0.02	49/5	0.01	49/11
				0.01	50/2		
				0.01	49/3		

*秋田県衛生科学研究所

